



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

7

No. 659



まちひと百景

そろばん教室

6月15日、22日、29日の3回実施した公民館講座「そろばん教室」のひとコマ。

この講座ではそろばんの基本を学ぶことが目的であるが、参加者には小学校低学年から大人まで幅広い年代が集まった。そろばんといえば昔は習字と並ぶ習い事の上位人気であったが、昨今は機械の発展によりそろばんもなかなか使うこともなくなった。

しかし最近では、集中力や記憶力、情報処理能力などに効果あるといわれており再び脚光をあびている。昔のようにまたブームが起こるかもしれない。

- 星野恭司さん叙勲祝賀会ほか… 2
- 運動会・体育大会… 3
- クリーンアップ日本海ほか… 4
- 小倉哲志さん叙勲伝達式ほか… 5
- ファイヤー通信・お知らせほか… 6
- 健康ばんざい… 7
- 国民健康保険ガイド… 8
- 学びの広場… 9
- 国民年金ほか… 10
- 住まいる情報… 11～12
- 苫前町議会だよりNo.104… 13～19
- ちびっこギャラリー… 20

苫前町
議会だより
合併号

まちの人口

人口/3,276人(男/1,564人:女/1,712人)
世帯数/1,591世帯 (6月30日現在)



ひな壇で喝采の拍手を受ける星野恭司、ウ子ご夫妻

～春の叙勲で旭日双光章～ 星野恭司氏受章祝賀会

6月23日(木)春の叙勲で町政発展の功労における「旭日双光章」の荣誉に輝いた星野恭司さん(字 苦前=81才)の受章祝賀会が「とままえ温泉ふわっと」で執り行われ、受章の喜びに沸く町内外関係者171名が参列し、叙勲受章を心から祝った。

小澤副町長の先導により入場した星野さんご夫妻は、ひな壇に並び、参列者から祝福の拍手を受け、深々と一礼し、祝賀会は始まった。

森町長からは「本町発展のためのこれまでの功績に感謝と敬意を表するとともに、今後、苦前町の発展のためにご協力、ご尽力賜りたい」とあいさつ。

功績紹介が行われたあと、来賓を代表し阿部俊一町議会議長、工藤敏郎前道議会議員から祝辞が述べられ、お孫さん(星野幸太さん、中静くるみさん)からお二人に花束が贈呈された。

星野恭司さんは、昭和54年に苦前町議会議員に初当選され、昭和60年監査委員、平成15年には同議会議長として、9期36年の長きにわたり豊富な経験と卓越した識見、指導力を発揮され、地域社会の発展と町民意見の反映に献身的



お孫さんから花束を受け喜びの星野さん



受章を祝う祝賀会の様子

に取り組んだ。

特に、議長就任後には大型事業に伴う公債費の増大により危機的状況に陥った本町財政の立て直しのために行財政改革に取り組み、議長として活発な議会討議を行った実績と卓越した調整力は高く評価されている。

星野さんからは「議員活動の39年間は、本当に地域の皆さんや行政職員、先輩議員や同志の皆さんのおかげで努めることができた。本当に私に人に恵まれたと思っっている。他に、なによりも健康であったことがこの受章につながった」とお礼の言葉を述べていた。

引き続き、福士敦朗町議会議長、副議長の乾杯で祝宴が入り、星野さんは参会者一人ひとりと杯を交わしながら感謝と喜びを語っていた。

岡山県新庄村に及ばず敗戦 ～チャレンジデー2016～



5月25日(水)に町内一円でチャレンジデー2016が開催され、延べ1、891人が参加、参加率56・9パーセントで岡山県新庄村の94・5パーセントに及ばず敗戦となった。

催しでは、苦前地区・古丹別地区での早朝ラジオ体操を皮切りに、園児のマラソン大会、児童の鬼ごっこ、デイサービスの体験、ストレッチ教室、バドミントン、卓球などが実施された。また、合宿などで本町とゆかりのあるエスポラーダ北海道イルネーヴェの女子選手もかけつけ学校や施設などを精力的に周り催しを盛り上げていた。



夜間に苦前小学校とスポーツセンターの2箇所で開催された玉入れ選手権では、両会場で18チームが参加、町内で利用できる一万円分の食事券をめぐり熱いバトルが展開された。

主催のチャレンジデー実行委員会事務局では「一過性のイベントには終わらず、その後も継続的にスポーツを楽しんで欲しい」と述べていた。

6月4日㊦ 苫前中学校体育祭



6月5日㊦ 古丹別中学校体育祭



6月11日㊦ 苫前小学校運動会



6月12日㊦ 古丹別小学校運動会



6月19日㊦ 苫前保育園うんどう会



6月26日㊦ 古丹別保育所うんどう会



青空のもと、汗をかきながら海岸沿いを清掃



6月16日(木)町内の海岸線でクリーンアップ日本海が実施され、各地域の町内会や婦人会などの団体、建設協会員などあわせて約140名が参加した。

朝から青空のもと海からの風もさわやかな中、集まった人達は一般や破碎、粗大ゴミに仕分けを行いながら、ゴミ袋を片手に約2時間にもわたり黙々とゴミを拾い集めていた。

午後からは集めたゴミを大型トラックに回収。集まった約2400キログラムのゴミを羽幌町のゴミ処理施設へ搬入した。ここ数年は減少傾向で推移している。

無災害へ、誓いを新たに～苫前建設協会安全大会～

森町長らの祝辞の後、「交通事故防止について」と題して羽幌警察署の唯野真史地域交通課長の講話により交通安全の徹底について改めて確認した。

このあと建設災害の抑止と交通事故の防止を含めた決意宣言が行われた。

6月9日(木)公民館で苫前建設協会(渡部一男会長)の第23回安全大会が同協会加盟事業所から約100名が参加し開催された。

渡部会長は「労働力不足で安全対策が難しくなりさらなる対応が必要になっている。しかし安全に特効薬はなく、一人ひとりがこつこつと積み上げていくほかない」とあいさつした。



地域社会貢献事業

まちの施設を整備していただきました

用具保管用プレハブの貸与～

苫前小学校改築工事を実施しているハラダ・東北特定建設工事共同企業体(建設主体)、フルノ・山崎・奥瀬特定建設工事共同企業体(電気設備)、日進・橋場特定建設工事共同企業体(機械設備)が苫前小学校運動会実施に係る用具保管用プレハブの貸与を6月6日(月)～11日(土)まで地域社会貢献事業として実施した。

苫前小学校は、学校建設工事のためグラウンドが使用できず苫前中学校で開催することとしておりましたが、開催に必要とされる用具の運搬などに苦慮していましたが、今回貸与いただいたおかげで無事に運動会も滞りなく終了することができました。

ありがとうございました。

ハラダ・東北特定建設工事共同企業体
フルノ・山崎・奥瀬特定建設工事共同企業体
日進・橋場特定建設工事共同企業体

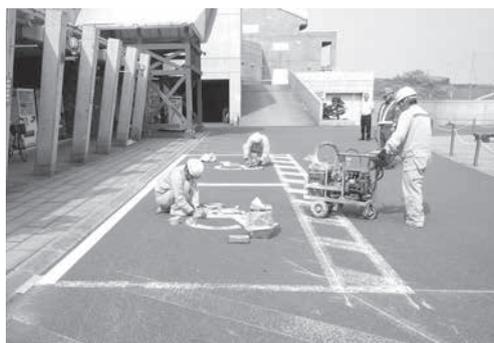


とままえ温泉ふわっと正面玄関部の区画線整備～山本建設工業株式会社～

山本建設工業株式会社(山本道浩代表取締役)が6月19日(日)にとままえ温泉ふわっと正面玄関部の区画線の整備を地域社会貢献事業として実施した。

これから観光シーズンが本格化して安全带や駐車帯への乗り入れが多くなる中で、利用者にも目につきやすくなりやすくなったことで施設を円滑に運営することができそうです。

ありがとうございました。



小倉哲志さんに瑞宝双光章を授与



瑞宝双光章が授与された小倉さんは、「ここまでこれたのは地域の皆さんや消防職員・消防団員の協力があったからこそ이었다」と感謝を述べていた。

特に、集中豪雨による河川の氾濫や住宅火災などによる救出など現場活動において高い評価を得ていること、また初期消火の重要性から各戸に消火器設置運動を実施するなど防火思想の普及にも多大な貢献を果たしている。

6月9日(木)役場町長室で北留萌消防組合苦前町消防団長を務めた小倉哲志さんに「瑞宝双光章」の伝達式が行われた。小倉氏は昭和36年に苦前町消防団員として入団をし平成6年に副団長、平成14年から平成22年までの8年間は団長としてその職責を全うした。

まちなかサロン始まる ～誕生会・読み聞かせや軽運動などで交流～

同サロンは10月の最終金曜日まで実施されるが、運営には民生委員・婦人会・町内会の人たちがボランティアで参加者のお世話をす。今後は血圧測定や健康相談、交通安全教室・防犯教室など実施される。

6月3日(金)に苦前福祉センターにおいて今年3回目の「まちなかサロン」が行われた。今回は1月から6月生まれの8人の誕生会としてケーキとお祝いソングで祝福をした。対象となった8人も笑顔を弾ませた。誕生会のあとには公民館職員による絵本の読み聞かせ、指先や足の軽い運動でリラクゼーションをした。



公民館講座「そろばん教室」



6月15日(水)公民館にて公民館講座「そろばん教室」が開催された。本講座は1期3回を予定しているもので、主にそろばんの基本を学ぶことに重点をおいている。講師を勤める苦前商業高校の古市義一教諭からは「そろばんの楽しさをわかってもらえればうれしい」とあいさつをした。参加者は小学校の低学年から大人までの16名と幅広い年齢だったが、慣れないそろばんに悪戦苦闘しながらも講師の先生の話を真剣に聞いていた。

地引き網で何が採れたかな！ ～学社融合事業「地引き網」～

6月22日(水)力昼番屋のバス停留所裏で学社融合事業「地引き網」が開催され、苦前小学校(堀井理校長)の4年生9名が海にどのような生物がいるかを調査した。児童が2班に分かれ行われた地引き網の1回目は、例年以上に大量のウグイなどが採れ、実際の魚を前に児童は大興奮。「見せて、見せて」と自分たちが採った魚を一目見ようと殺到していた。更なる大漁が期待された2回目では、ギンポやイソバテングなど1回目と違った魚種が採れ、実際に見る魚に児童も目を輝かせていた。

6月22日(水)力昼番屋のバス停留所裏で学社融合事業「地引き網」が開催され、苦前小学校(堀井理校長)の4年生9名が海にどのような生物がいるかを調査した。児童が2班に分かれ行われた地引き網の1回目は、例年以上に大量のウグイなどが採れ、実際の魚を前に児童は大興奮。「見せて、見せて」と自分たちが採った魚を一目見ようと殺到していた。更なる大漁が期待された2回目では、ギンポやイソバテングなど1回目と違った魚種が採れ、実際に見る魚に児童も目を輝かせていた。



中小企業の皆様！ 退職金は中退共におまかせ下さい！！

中退共制度は中小企業で働く従業員のための外部積立型の国の退職金制度です

- ★掛金の一部を国が助成します
- ★掛金は全額非課税です
- ★管理が簡単です
- ★適格退職年金制度から中退共制度に移行できます

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
 中小企業退職金共済事業本部
 略称： **中退共**

〒105-8077 東京都港区芝公園1-7-6
 TEL (03)3436-0151 FAX (03)3436-0400
 URL <http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp>

B型肝炎訴訟道北説明会のお知らせ

平成23年6月28日、国との間で集団予防接種での注射器のまわし打ちによるB型肝炎ウイルス感染被害に関して、「基本合意」を締結し、これにより救済の枠組みが決まりました。

当弁護士では、一人でも多くの被害者に救済措置を受けていただくように、相談会を全道各地で開催しています。当日は、弁護士が裁判の要件や概要について説明し、個別の相談会も行います。どうぞお気軽にご来場ください。

問い合わせは下記まで

- ◆留萌会場(留萌市保健福祉センター)
 8月6日(土) 13:30～
 全国B型肝炎訴訟北海道弁護士事務局
 ☎011-231-1941

多発！器物損壊事件！

今年の4月から5月にかけて、羽幌町・苫前町において車両や施設の窓ガラスなどを対象とした器物損壊事件が多発しています。

○被害防止のために

- ・車の路上駐車はせず、自宅敷地内の車庫や人目につきやすい駐車場内に駐車するようにしましょう。
- ・敷地内にはセンサーライト等を設置するなどして防犯に努めましょう。

車両付近を長時間うろついているなどの不審者を見かけた際は、すぐに警察に通報してください。

羽幌警察署(☎62-1110)

第19回火の用心パークゴルフ大会



大会結果はこちら

- ★優勝 中塚 公彦
- ☆準優勝 佐藤 関夫
- ☆3位 佐藤 哲夫
- ☆4位 鳴海 武美
- ☆5位 伊藤 実 (上位5名まで)

6月26日(日)に苫前パークゴルフ場(からまつ・はまなすコース)で北留萌消防組合消防署苫前支署主催の「第19回火の用心パークゴルフ大会」が行われた。この日はあいにくの雨模様であったが、参加者は日頃の成果を存分に発揮しプレーを楽しんでいた。



安全で楽しい花火を！！

～花火遊びをする時は次の事項を守りましょう～



- ①子供は必ず大人と遊びましょう。
- ②必ず水を用意しましょう。
- ③風の強いときは花火で遊ばない。
- ④花火を人や家に向けたり、燃えやすい物の近くでは遊ばないようにしましょう。
- ⑥花火に書いてある注意事項を守りましょう。



花火による事故事例
(全国の事例)

・花火で遊んでいたところ
飛び火で火傷。

・固定不足の打ち上げ花火
が転倒。人に当たり火傷。

火事・救急は 119 番！

北留萌消防組合消防署

苫前支署
古丹別支署

TEL64-2321
TEL65-4119